

山形県参議院議員 芳賀道也 活動報告

# はがみちやタイムズ

Haga Michiya Times

2021.05  
春号  
VOL.08

発行元：芳賀みちや道優会 © 〒990-0825 山形県山形市城北町1丁目24-15 ダイア 66 城北2F-A TEL:023-676-5115 FAX:023-676-5116

## 4/5決算委員会で菅総理に質問 (NHK中継)

### 病院への直接支援が足りない！

山形県内の民間病院や民間病院グループの直近の損益を伺うと、多くが1000万円単位や億単位の赤字。黒字のところも補助金でかろうじて黒字になっているという状態です。「このままでは医療体制が危ない 病院に直接資金提供が必要」と昨年から厚生労働委員会で政府に訴えたのに、事態が改善していません

「これだけ支援しているのに、赤字のはずがない。いつのデータだ？」という田村厚労大臣の答弁に、多くの病院・医院、医



療関係者が、驚き、怒り、あきれたことと思います。医師でもある党内の良識派の声も届かないのが今の自民党です。

### 山形県内 民間病院の赤字

A病院	B病院 グループ	C病院 グループ	D病院 グループ	E病院
2881万円	▲1100万円	▲1200万円	▲2億6000万円	▲4億円超 (病院本体)

### 野党は「反対ばかり」なのか？

「野党は反対ばかり」という方が結構いらっしゃるようですが、全く逆。新型コロナ感染拡大以降、野党は次々と提

案を重ねて、政府は後からそれを一部取り上げて政策として実現させています。

1人10万円の給付

も、家賃支援金、学生支援、一人親支援も野党が提案した政策です。3月には「事業規模に応じた経費支援法案」を国民民主党が提出。

菅総理に「野党は反対ばかり」と思うかと質問。明確に「YES」の返事はなかったものの、暗に野党の提案を評価する答弁でした。



### 新型コロナ検査数ビリから2番目！

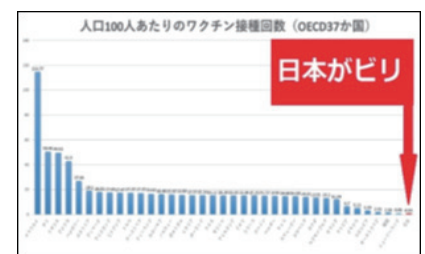
### ワクチン接種はビリ (OECD内、3月末時点)

新型コロナの検査は人口1000人あたりで比べると米国・英国などOECD諸国のうち3月末現在でビリから2番目。新型コロナワクチンの人口100人あたり接種割合も3月末現在でOECD諸国でビリ。

どうしてこんなに遅いのか この問題を質問すると、田村厚労大臣は、ワクチン契約の杜撰さやワクチン確保の国際競争に惨敗した大きな原因には触れずに「日本人の患者が少ないので治験が行えなかった」「国内企業のワクチン開発は小規模な研究所を中心に進めているため、国内開発が遅れた」という答弁。

しかし、米国政府は国防総省予算から新しいワクチンを開発したベンチャー企業に、2013年から27億円も補助。わが国でも2010年の「新型インフルエンザ対策総括会議」で国内のワクチン開発を支援すべきという提言を出していたのに、実行に移していません。

国民の命を守るため、これまでさぼってきたワクチン開発や感染症対策等に力を入れるよう根本的なことをすべきだ、と医療体制の整備と命・暮らしを守ることを主張して質問を終えました。



## 「新過疎法各党実務者会議」にて新たな過疎法づくりに尽力

### ▶ 総務省過疎対策室と調整し、これまでの過疎対策を継続可能に

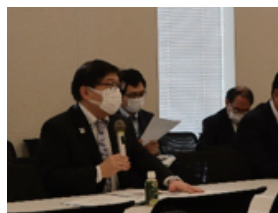
これまでの過疎法が3月末で終了。新しい過疎法をまとめる超党派の実務者会議に1月から3月、会派を代表して出席しました。

山形県庁や県内市町村の方にお話を伺いながら議論を展開。過疎地域が「持続可能」になるためには「過疎債」「ソフト債」などの継続が必要です。総務省の過疎対策室の方と何度もやりとりして、県内市町村でこれまで「過疎地域」と指定されていた地域で、新法でもこれまでと同じ取り組みが進められるように調整しました。

3/26総務委員会でも「新過疎

法」について質問。過疎市町村の役場の方から要望が強い「ソフト債」の総枠維持を総務大臣に要望。

一方、過疎地域に限らず学校や保育園など国の補助で建てた建物を、廃校・閉園の後で他の使い道で活用したい例が増えています。しかしその際、補助金を国に返す義務があります。これが過疎地などの街づくりにブレーキをかけているため、質問では文科省・厚労省の方に対して柔軟な運用を求めました。



## 3/30 NHK受信料の免除の拡大について質問

### ▶ 生活保護家庭、奨学金を受ける学生以外にも 受信料免除を広げるよう要望

新型コロナ禍で、解雇・雇い止め・派遣切りなどで日々の暮らしにお困りの方が増えています。学生もアルバイトが減って受信料を払えない例が増えています。現状では生活保護家庭や奨学金を受ける学生などに限って受信料免除になっています。自宅を離れて学ぶ学生や低所得者の免除・減額を要望しました。

また、入居したアパート・マンションに衛星放送設備が入居前から付いている場合、衛星放送契約が不要でも地上波だけの契約はできません。この柔軟な対応をNHK会長に要望しました。



## 3/25 自動車課税の引き下げを質問

### ▶ 新型コロナ対策として自動車の車体・燃料課税の減税を提案

山形県などの地方のクルマ社会では、自動車のローン・税金・ガソリン代・保険料などが各家庭で重い負担になっています。新型コロナの感染拡大で消費全体が落ち込む中、

国民民主党は昨年12月「家計と技術革新を支援する自動車減税」を提案しました。

この減税案について国交省と総務大臣に質問し、いずれもこの提案について検討することを約束いただきました。



芳賀道也  
活動レポート

## 大雪対策など 地元の要望を実現

### 農業施設の大雪被害への補助を農水省に要望

2/3舟山やすえ政調会長のご調整により、農林水産省の経営局に対して、この冬の大雪による農業関係の被害に対する支援策を要望。被害を受けたビニールハウスの修理や建て替えへの補助の説明を受けました。



### GOTOトラベル 地元宿泊業者・代理店への補助

GOTOトラベルを申し込んだ旅行者ご本人はキャンセル料ゼロで取り消しできましたが、キャンセルを受けた宿泊業者に補てんが届かない、間に入る旅行代理店の事務手数料が安すぎるという問題がありました。要望の結果、3月に規定が変わり、それぞれ確実に支払われるようになりました。





## 特別交付税の増額で県内市町村の雪害対策を支援

### ▶ 地方交付税の6%「特別交付税」の増額を要望し、過去最高額の交付を実現！

この冬は県内各地でたびたび大雪や吹雪に見舞われ、各地でお亡くなりになる方もいました。市町村では除雪費の支出が予算額以上に膨張。災害対応など自治体の特別な出費を国が支える制度として「特別交付税」があります。大雪で困る市町村に特別交付税を増額してほしいと国に要望しました。この結果1/25には県内全市町村に特別交付税の繰り上げ交付があり、3/22には過去最高額の特別交付税が交付されました(交付額は右下の総務省作成の表の通りです)



なお、この「特別交付税」は山形県知事選挙でも話題になった「地方交付税」のうち全体の6%。地方交付税の94%を占める「普通交付税」は、機械的に計算するため誰が知事・市町村長になっても

変わりませんが、この特別交付税の配分については政治的な働きかけが影響すると複数の学者さんが指摘しています。

3/12と3/26参議院本会議、1/28と3/16、3/23総務委員会にて地方交付税や特別交付税について重ねて質問しました。

2/18にも舟山やすえ議員と共に、総務省交付税課に雪害対策などへの特別交付税の増額を要望しました。

(単位:千円)

都市名	3月交付額	交付税総額
山形	541,869	1,068,705
米沢	1,087,466	1,233,319
鶴岡	1,686,471	2,054,468
酒田	963,580	1,259,624
新庄	1,012,536	1,053,829
寒河江	353,564	476,759
上山	469,944	554,929
村山	1,278,142	1,368,669
長井	579,166	731,666
天童	471,887	558,333
東根	556,698	654,307
尾花沢	798,109	931,756
南陽	515,889	638,418
計	10,315,321	12,584,782



令和2年度特別交付税の3月交付額

(単位:千円)

団体名	3月交付額	交付総額
山辺町	151,053	176,183
中山町	219,020	232,740
河北町	356,977	405,073
西川町	329,521	433,387
朝日町	286,630	426,341
大江町	250,136	329,920
大石田町	264,047	362,100
金山町	228,435	307,165
最上町	339,944	480,965
角形町	269,218	343,757
真室川町	281,606	433,988
大蔵村	269,400	405,984
鮎川村	214,321	245,599
戸沢村	226,198	273,148
高森町	337,296	458,449
川西町	308,366	674,631
小国町	377,181	467,691
白鷹町	435,698	637,669
飯豊町	288,610	328,814
三川町	148,459	168,899
庄内町	345,707	393,781
遊佐町	284,903	332,913
町村分計	6,212,726	8,319,197

## 山形の酒と酒米応援キャンペーン大成功

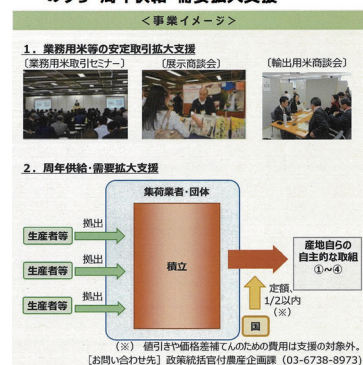
### ▶ 酒蔵・酒米農家を応援するため「県産米を使った日本酒」の宣伝活動を農水省の補助金で支援



芳賀の情報提供に依って、県酒造組合がすぐれた企画をして農水省の補助金に応募。東北地方で唯一採択された「山形の酒米応援キャンペーン」。1か月あまりの短期間にもかかわらず、全国から約9000セットの注文があり、合計3万7119本のこだわりの県産酒が47都道府県すべてに届けられました。売り上げも4500万円を超える大成功となりました。

チームワーク良くスピーディーに動いてくれた山形県酒造組合に感謝を申し上げ、引き続き県産品・県産農産物を支援していきます

#### 令和2年度米穀周年供給・需要拡大支援事業のうち 周年供給・需要拡大支援



参議院議員 芳賀道也の所属委員会

総務委員会、決算委員会(理事)、東日本震災復興特別委員会

山形県 参議院議員  
**芳賀道也**

【山形事務所】  
〒990-0825  
山形県山形市城北町1丁目24-15  
ダイヤ66城北 2F・A  
TEL 023-676-5115 FAX 023-676-5116

【国会事務所】  
〒100-8962  
東京都千代田区永田町2丁目1-1  
参議院議員会館 917号室  
TEL 03-6550-0917 FAX 03-6551-0917



## 衆議院・山形2区支部長「加藤けんいち」さん



パラグライダーで一人で車いすで飛ぶ  
加藤けんいちさん

### ◆空飛ぶ車いす社長「加藤けんいち」さん

「加藤けんいち」さんは難病「筋ジストロフィー」を抱えながら、車いすに乗ったままパラグライダーで空を飛ぶという世界初の快挙を2019年に達成しました！

「加藤けんいち」さんは、自分の経験を生かして山形県内初の「山形バリアフリー観光ツアーセンター」を2016年に設立。障がいの有無にかかわらず誰もが自由に旅行を楽しめる仕組み

づくりを広げてきました。南陽市の赤湯温泉では旅館・ホテルのバリアフリー化が進み、車いすの方も入浴可能な宿が増えました。最近では全国から「車椅子で空を飛ぼう」という人たちが南陽に集まって来ています。さらにこの情報は海外にも広がり、北欧・デンマークの障がい者と健常者で共に学ぶ学校の学生さんたちが、修学旅行として南陽を訪問したこともありました。

また、「加藤けんいち」さんは障がい者の就労支援を経営するなど、自動車の整備を通して「ものづくり」を応援。農業と福祉の連携にも取り組んでいます。

◆国民民主党、立憲民主党、社会民主フォーラム、新社会党など野党も協力して  
応援していきたいと思います

新しい時代を切り開く「加藤けんいち」さんを一緒に応援しましょう！



### 加藤けんいちさん基本政策

- ① ウィズコロナ・アフターコロナは地方の時代
- ② 誰もが安心して暮らせる社会へ
- ③ 地域のくらし・しごとを守る
- ④ 地域発で「脱炭素社会」を！
- ⑤ 人づくりと、平和なくして国の未来なし！

### プロフィール

1980年11月南陽市生まれ。南陽市立吉野中学校・県立長井工業高校卒業。21歳で難病「筋ジストロフィー」の診断を受け、現在は車いすで活動。株式会社 三陽製作所勤務を経て2016年一般社団法人 山形バリアフリー観光ツアーセンター設立。2018年株式会社 夢源を設立し代表取締役。

加藤けんいち後援会 ☎0238-40-1567 FAX 0238-40-1568 ←ミニ集会・演説会のご要望はコチラまで  
mail office@katokenichi.jp URL https://katokenichi.jp 〒999-2221 南陽市桐塚(くめぎつか)419-4

加藤けんいちさんの  
SNSにアクセス



LINE「加藤けんいち後援会」

空飛ぶ車椅子社長  
加藤けん一公式LINEを  
お友達に追加



Twitter

「加藤けん一 空飛ぶ車いす社長」



Youtube

「炎のけんちゃんねる」



Facebook

「加藤けん一 (けんぼー)」



Instagram

「ken\_style」



## 3/21「加藤けんいち」さん、山形の未来を語る

「加藤けんいち」さんは、南陽市でのシンポジウム「さあ、共に新時代へ！やまがたの未来を語ろう」に参加。

「加藤けんいち」さんは「新型コロナが広がり、社会の様子

が変わる今のような時だからこそ、私たち大人が夢や希望を語っていかねばならない。チャレンジを続けることで『不可能』が『可能』に変わっていく。

一人一人の意識が変われば街も変わる。私がみんなの気持ちを共有して国につなげば、もっと安全

安心の街に変わっていく」と熱く語りました。

舟山やすえ議員もパネリストとして参加し「加藤さん自身もがんばっているが、加藤さんは磁石のように人を引きつけて、加藤さんの周りに盛り上がりができる」と発言。

芳賀はパネルディスカッションの司会を務めました。

